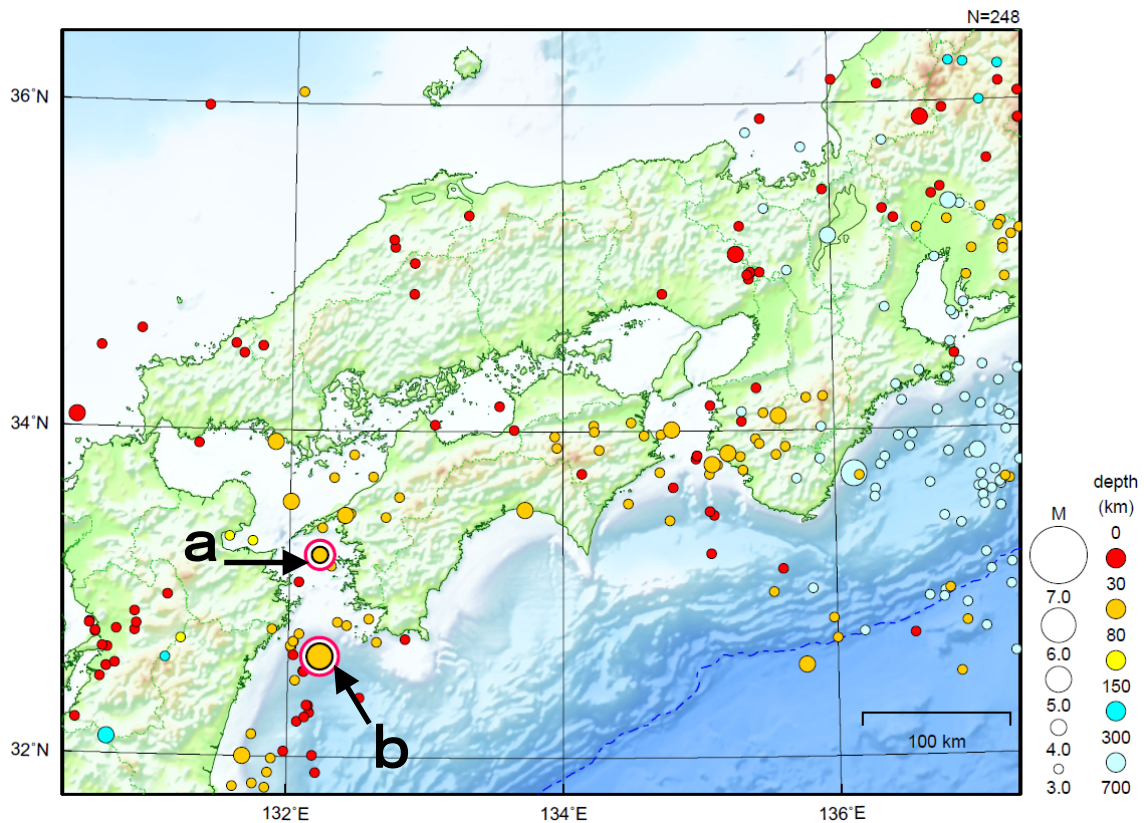


## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

2023/01/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、M $\geq$ 3.0）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

## 〔概況〕

2023年に近畿・中国・四国地方で震度4以上を観測した地震は2回（2022年は5回）であった。  
2023年中の主な活動は次のとおりである。

- a 5月19日06時56分に豊後水道の深さ46kmでM4.5の地震が発生し、愛媛県伊方町で震度4を観測したほか、中国・四国地方及び九州地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。
- b 7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震が発生し、高知県宿毛市及び大分県佐伯市で震度4を観測したほか、中国・四国地方及び九州地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

## （図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。10月5日10時59分には深さ10km（CMT解による）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、伊豆諸島の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、10月6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及

び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、10月9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

近畿・四国地方では、10月9日04時頃から06時台にかけての地震活動により、土佐清水で34cmの津波を観測するなど、和歌山県から愛媛県の太平洋沿岸にかけて津波を観測した。

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

近畿・四国地方では、和歌山県の串本町袋港で17cmなど、和歌山県、徳島県、高知県及び大阪府の岬町淡輪で津波を観測した。